

かけはし

赤の1組

~秋のダイナミックワールド号~

「秋のダイナミックワールド」において、赤の1組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

芸術の森公園や大学キャンパスへ出掛け、「秋」を見つけてきた子どもたち。拾ってきた自然物(木の実や落ち葉)を使って遊び始めました。1学期からクラスで楽しんでいる遊びにも秋の素材が加わり、さらに盛り上がっています。

ドングリのケーキ・クッキー屋さん

ドングリでケーキやクッキーをつくりたいという子どもたちの思いから生まれた遊び。



木の実拾いの後、ドングリを使って、「ケーキやクッキーをつくりたい」という声があがりました。



いらっしゃいませ～
おいしいですよ！

たくさんのケーキやクッキーが出来上がると、「お店屋さんごっこをしようよ」とお店がオープンしました。



ドングリケーキ
おいしいね！

「おいしいね」このケーキかわいい～と楽しそうに会話を弾ませる姿も見られました。

ドングリのピタゴラスイッチ

ドングリのピタゴラスイッチをつくりたいと転がして遊び始めたことがきっかけで生まれた遊び。



どうしたら
転がるかな～？

木の実拾いで拾って来たドングリをころころと自由に転がし始めた子どもたち。身近な素材(空き箱、牛乳パック、トイレトペーパーの芯など)でドングリが転がる装置を作り出す子どもも出てきました。



ペットボトルなら
ドングリが見えるね！



みんなでどの素材を使うか相談し、身近な素材のコーナーからペットボトルを集めてきて、ピタゴラスイッチをつくることに。しかし、遊んでいるうちに壊れてしまうという問題が発生。



ペットボトルの角度を調整したり、ペットボトル同士をつなげていくつも道をつくったり、アイデアを出し合い、試行錯誤しながら、日々改良を重ねています。

ダンスステージ

踊ることが大好きになった子どもたち。発表するところがあつたらいいなという声から生まれた遊び。



自由遊びの時間にはいつも「流して～！」と曲をリクエストするようになった子どもたち。木の実拾い後にドングリマラカスをつくりだした子は、それを持ってダンスをしたり応援したりする姿も。保育者がビニールを服の形に切って用意すると、ドングリの絵や葉っぱをつけて、衣装づくりも楽しそうにしていました。発表するところがほしい」という子の声をきっかけにステージをつくると、ダンスの発表がさらに盛り上がっていきました。

BBQ&テントごっこ

家族でバーベキューをした子が、幼稚園でもみんなでバーベキューをしたいと言い生まれた遊び。



葉っぱを貼って
かわいいテント
にしたい！



秋の葉っぱは
赤色や黄色が
あるよね！



いただきます

「バーベキューってお肉やお魚を焼いたりするんだよ！」「お野菜もあった！」とバーベキューごっこを始めた子どもたち。サツマイモ堀りの後は、焼き芋ごっこも始まりました。

「テントあつたらいいね！」という声もあがりました。すると偶然、山梨学院短期大学の学生さんたちがつくった家がプレゼントとして届き、それをつかってテントをつくることに。

テントの中に、バーベキューの食べ物や焼き芋を持ち入れ、楽しそうにパーティーをしています。

ゾウムシになってあそぼう

全身をつかって遊べるようにトンネルや平均台を置いておいたことがきっかけで生まれた遊び。



遊ぶところを
素敵にしたいね！



ケンケンパも
あつたらいいね！



ドングリから出てきたゾウムシの幼虫を飼っている子どもたち。保育者がお部屋に置いたカラートンネルをくぐって遊んでいる友達を見て、「ゾウムシみたい！楽しそう！」とみんなでゾウムシになりきって遊び始めました。

「ゾウムシさんはどんな遊びをするのかな？」と楽しく身体を動かして遊んでいます。